

第40回 北信越中学校総合競技大会 バドミントン競技 申し合わせ事項

この大会は、北信越中学校体育連盟が定めた実施要項、（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程に準じて行う。その他、代表者会議（各県専門委員長会議）の決定による。

○競技上の注意

- 1 参加選手は、開会式に必ず参加すること。
- 2 監督・コーチ・マネージャーについても、この大会が学校管理下の大会であることを認識し、その品位を守るためにふさわしい服装《（公財）日本バドミントン協会検定合格品ウェア、襟付きシャツ、七分丈のズボン可、短パン・ハーフパンツは不可》で臨むとともに、選手の健康管理と掌握に努め、大会運営に協力する。
- 3 団体戦での選手変更、団体戦・個人戦での監督、コーチ・マネージャーの変更については、所定の用紙を監督会議前に大会事務局に提出し、監督会議の承認を得る。
- 4 進行は、コート指定ではなく、同一回戦の試合番号順に空いたコートで行っていく。
- 5 団体戦では、放送で呼ばれたら、速やかにオーダー用紙を交換所で交換する。6日（火）の1回戦については、女子は午前8時20分、男子は午前8時30分に交換する。個人戦選手は放送の指示で、選手招集所（多目的ルーム）に集合する。
- 6 団体戦の試合順序は、複1・単・複2とする。また、初回戦から2点先取とする。
- 7 試合の進行状況によっては、試合開始時刻や使用コートの変更、団体戦では2コートを使い並行して行なうことがある。準決勝・決勝は最初から2コート並行で行う。
- 8 個人戦において、試合が連続になった場合は、原則として試合終了後10分間の休憩をとる。
- 9 ベンチは、トーナメント表の若番チームが本部に向かって右側とする。
- 10 試合前の練習は、初回戦のみ行う。挨拶のあとで主審の計時により3分間行う。団体戦では若番チームが先に行い、個人戦は同時に練習を行う。シングルスは対戦相手と行う。シャトルは、団体戦は各チームで用意、個人戦は本部で用意する。
- 11 団体戦でベンチに入れるのは、エントリーされた選手、監督、マネージャーまたはコーチとする。個人戦でベンチに入れるのは、監督・コーチとする。（2名まで）必ずIDカードを付けること。
- 12 インターバルについては、各ゲーム中に一方のサイドが11点になったとき60秒以内、ゲーム間は120秒以内のインターバルを認める。60秒のインターバルでは、コートを離れてはいけない。いずれのインターバルにおいても終了の20秒前にはコートにいること。コートサイドでアドバイスできるのは2名までとする。（補助の生徒も含む）

- 13 試合の進行については主審の指示に従うこと。ラケット・シャトルコックの交換やタオルの使用、水分補給、モップの要請でむやみに試合を中断しないように心がける。水分補給は、ストローなどのついた吸い口にふたのできる容器やスクイズボトルで給水する。また、床が水滴で濡れないようにタオル等で包んでコートサイドのカゴに入れる。
- 14 ベンチの下に入るような小型のクーラーボックスに限りベンチまでの持ち込みを認める。（コートサイドのかごに入れないこと）
- 15 試合中の事故タイムについては、テーピング治療など外傷、けいれんなどのはっきりわかる場合、主審に申し出て許可を得た後、コート近辺で最大5分、1回に限り認める。（2回目からは試合続行不能と見なす）
- 16 鼻血によるテクニカルタイムは、基本的には止血するまでとする。止まらない場合は救護の役員の判断に任せる。
- 17 試合中のモバイル機器（タブレット、携帯電話等）の使用は禁止する。
- 18 使用器具は2019年度（公財）日本バドミントン協会検定合格器具とする。シャトルについては、室温にあった番号の第1種検定合格品とする。（ヨネックス：ニューオフィシャル、ゴーセン：プラチナ、メトロ：PROFEATHER-EX）
- 19 競技中の服装は2019年度（公財）日本バドミントン協会検定合格ウェアとする。上衣の裾は下衣の中に入れて競技する。防汗や整髪のためのはちまきの使用は認めるが、体裁良く結ぶこと。
- 20 上衣の背面中央に縦20cm、横30cmの範囲内に校名及び姓表示を日本文字（楷書）で明記する。同姓の場合は名前の1文字目を小さく入れること。
- 21 応援は「拍手」を中心に節度をもって行う。うちわを鳴り物として使用する応援は禁止。「ことば」にも注意し、マナー良く応援する。
- 22 フラッシュ撮影は厳禁です。また、撮影した写真や動画をSNSに投稿することがないようにする。保護者、応援の方にも周知徹底してください。
- 23 サービスにおけるルール改正でサービス高（1.15m）が新たに設定されたことを受け、その判定方法について以下の通りとする。

①ポストの床から1.15mのところにテープでマークする。

②各校・各選手で予め胸元にテープを貼った状態で招集に来る。招集場所で、高さの確認をする。 ※その際、高さの確認ができるよう会場に何カ所か1.15mを表示する。

③試合直前に、主審がテープの再確認をする。

※試合中、ユニホームを着替える可能性がある場合は、事前に着替え用ユニホームにもマークを付けておく。マークを付けるためのインターバルの延長は認めない。

※「連絡事項」に記載のとおり、各チームでテープをご用意ください。